

議会における都心活性化プラン（仮称）に係る意見や提案

広島県議会

	意見・提案内容
総務委員会 (平成 27 年 7 月 1 日)	・ 中枢拠点性の向上を図るには何をすることが重要。 ・ 人口減少が進む中、都心の活性化は簡単なテーマではない。今の都心の問題点が何で、どうすれば理想に近づくのか、基本的な概念、理想がないと活性化は図れない。

広島市議会

	意見・提案内容
第 1 回都市活性化対策 特別委員会 (平成 27 年 9 月 3 日)	・ 都心活性化プラン策定（仮称）に当たっては、県の意向も大切だが、市の意向も打ち出すように。 ・ 商業の振興が都心の活性化の課題である。 ・ 都心活性化プラン（仮称）は、ハード整備が中心になると思うが、産業・暮らし・福祉・教育や都心に住んでいる人のことも考えて策定してほしい。
第 2 回都市活性化対策 特別委員会 (平成 27 年 11 月 24 日)	・ シニアや若年層、観光客が楽しめる商店街にしてほしい。 ・ 二葉の里地区の病院へ高齢者が行きやすいよう、ペDESTリアンデッキを延長してほしい。 ・ 紙屋町・八丁堀地区のにぎわいを取り戻すためには、旧広島市民球場跡地ににぎわいを呼び戻すことが重要である。 ・ 京橋辺りに歩行者専用空間を設けて、広島駅からの歩行者動線を検討するなど、新しい広島のまちづくりをしてほしい。 ・ 「200 万人広島都市圏構想」を実現する上で都心の活性化は非常に重要である。都心活性化プラン（仮称）策定に当たって、市は積極的に意見を出し、市議会の意見を取り入れてほしい。
平成 27 年第 6 回定例会 一般質問 (平成 27 年 12 月 9 日)	・ 中央公園ファミリープールに何らかのスポーツ施設を設け、複合的に屋内ファミリープールとして 3 6 5 日市民が憩い楽しめるようにすべきである。 ・ 中央公園内の渝華園について、活用を民間委託とし、レセプション等ができるユニークベニューとして活用すべきである。 ・ 都心のにぎわいづくりを進めるべきであり、「オープンカフェの街」広島を実現してほしい。 ・ 魅力とにぎわいのある買物空間を創出するためには、駐車場のあり方を考える必要がある。